



Mebuku
Ground
Inc.



めぶくグラウンド株式会社のご紹介
(2025/10/27)

1.前橋市のこれまでの歩み

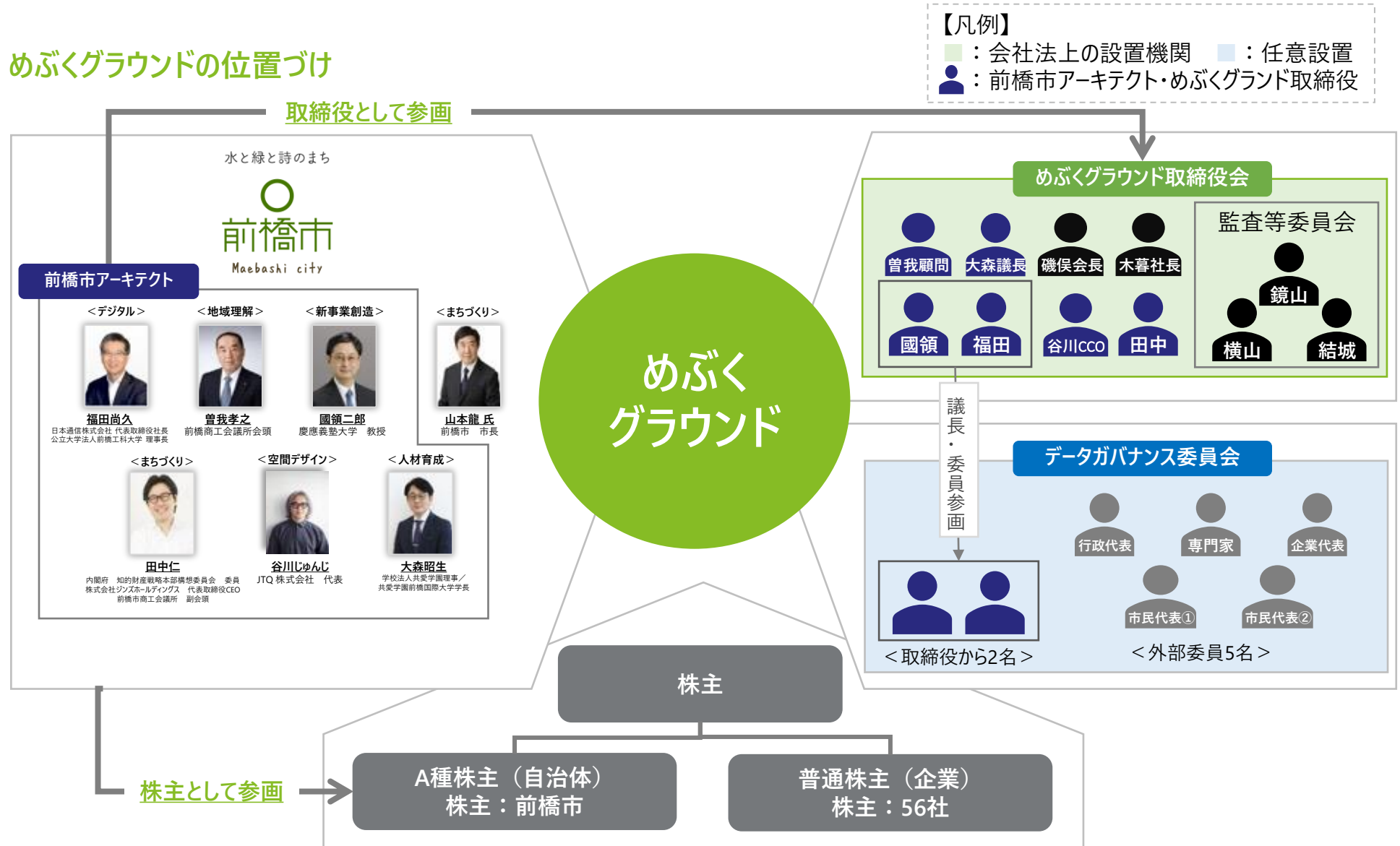


2016年、市民と共に創った前橋ビジョン、「めぶく。」
ここから、全て始まった。



めぶくグラウンドは、官民共創会社として、前橋市をはじめとする様々なステークホルダーを柱に、安心・安全なデータ利活用を実現するための強固な体制を築き上げています。

めぶくグラウンドの位置づけ



2.めぶくグラウンド株式会社の概要

めぶくグラウンドとは



Mebuku Ground Inc.

「めぶくグラウンド株式会社」は、

より安心で利便性の高い市民サービス実現に向け、
めぶくIDやデータ連携基盤を提供。

様々な公益・準公共・民間サービスを支援します。

めぶくIDの利活用にあたっては、データ提供者の意思と利益を守ることを使命とする「データガバナンス委員会」を会社法にはない定款に規定する形で設置しています。

データ利用者とデータ提供者の利害が相反する場合には、データ提供者の利益を優先することを徹底します。



About Us



MISSION

誰一人取り残されことなくWell-Beingを享受することができる社会の実現



VISION

人々が自らの意志で共助型未来都市であるデジタルグリーンシティを創生することを支える



VALUE

官民共創会社としての成り立ちを堅持し、新しいまちづくりのあり方を提示するIDやデータ連携基盤を提供し、安全なデータの利活用を促進する様々な公益サービス・準公共サービス・民間サービスを芽吹かせ、その利益は地域社会に還元する。

DATA GOVERNANCE

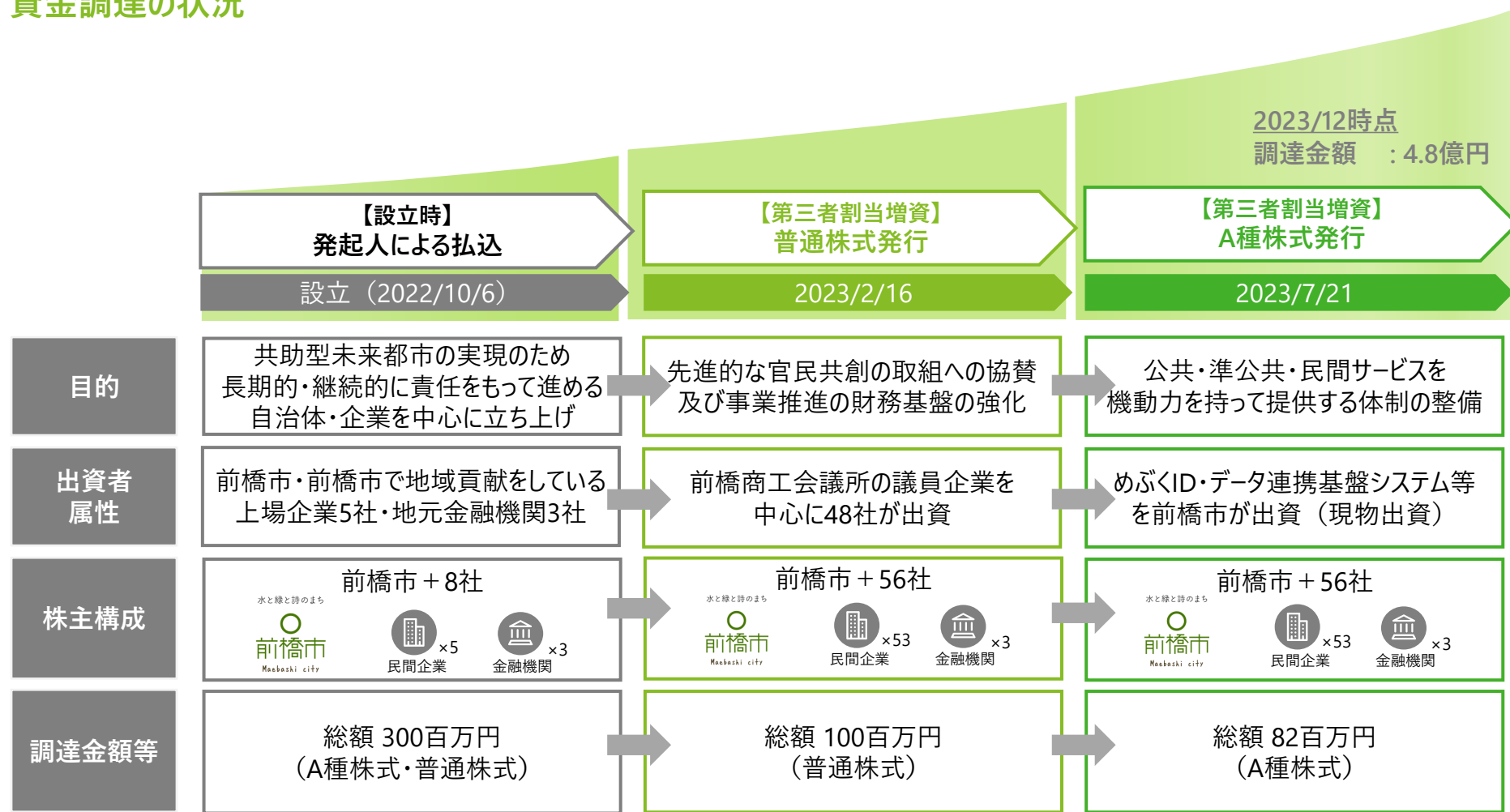
データガバナンス委員会は共助による豊かで人に優しい社会の構築に向けて、データを持ち寄って下さる個人、行政、企業、団体の意思と利益を守ることを使命とする。データ利用者と提供者の利害や意思が相反する場合は、データ提供者の利益を優先させる運用を会社に徹底させる。この原則下にデータの持ち寄りを促進して社会的、経済的な利得を拡大させることを志し、その果実を市民、事業者や地域プラットフォームを含むステークホルダーで適正に分け合うことを保障する。データガバナンスにもステークホルダーの参加をあおぐことで以上の実現をはかる。

めぶくグラウンド会社概要

会社名	めぶくグラウンド株式会社（Mebuku Ground Inc.）
役員構成	代表取締役社長 木暮 正樹
所在地	〒371-0024 群馬県前橋市表町2-30-8 AQERU 6F
設立	2022年10月6日
資本金	482,573,000円（資本準備金を含む）
株主	前橋市、カネコ種苗株式会社、株式会社コシダカホールディングス、株式会社ジンスホールディングス、日本通信株式会社、株式会社ヤマト、株式会社群馬銀行、しののめ信用金庫、株式会社東和銀行 ほか48社
主な事業内容	めぶくIDの発行およびデータ連携基盤の提供
公式ホームページ	https://www.mebukuba.jp/

前橋市及び地元で地域貢献している上場企業・金融機関が発起人となり官民共創で設立しました。その後、地元商工会の議員企業を中心に出資を受け、株主は57者であります。

資金調達状況



当社は、A種株式※¹を設けており、様々な地方自治体が当社に参画できる仕組みを提供しております。大株主の所有株式は、7,651株であり、発行済株式の8割を占めております。

大株主の状況（2024年8月1日時点）

連番	氏名又は名称	所有株式数 (株)	発行済株式の総数に 対する所有株式数の 割合（％）	区分	種類
1	前橋市	1,751	18.1	地方自治体	A種株式※ ¹
2	カネコ種苗株式会社	1,000	10.4	民間企業	普通株式
3	株式会社コシダカホールディングス	1,000	10.4	民間企業	普通株式
4	株式会社ジンズホールディングス	1,000	10.4	民間企業	普通株式
5	日本通信株式会社	1,000	10.4	民間企業	普通株式
6	株式会社ヤマト	1,000	10.4	民間企業	普通株式
7	株式会社群馬銀行	300	3.1	金融機関	普通株式
8	しのめ信用金庫	300	3.1	金融機関	普通株式
9	株式会社東和銀行	300	3.1	金融機関	普通株式
	計	7,651	79.3		

（注）1. 当社は、普通株式のほかに、A種株式についての定款の定めを置いております。
A種株式の内容は、以下のとおりです。

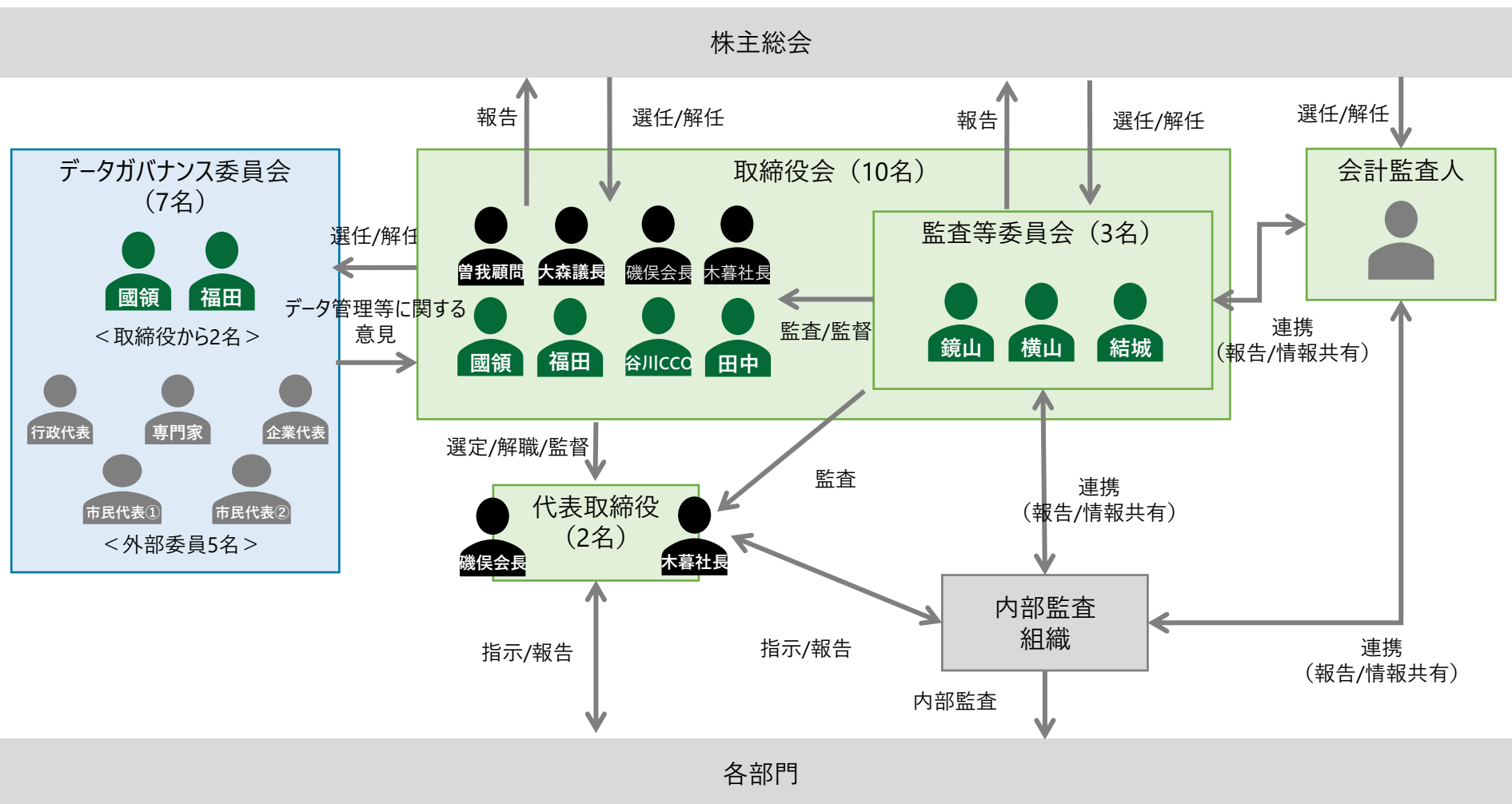
- (1) 剰余金の配当 A種株式を有する株主（以下「A種株主」という。）及びA種株式の登録株式質権者（A種株主と併せて、以下「A種株主等」という。）に対しては、剰余金の配当は行わない。
- (2) 残余財産の分配 当社は、残余財産を分配するときは、普通株式を有する株主及び普通株式の登録株式質権者に対する分配に優先して、A種株主等に対し、A種株式1株につき、A種株式1株当たりの払込金額相当額の金銭を支払う。A種株主等に対しては、残余財産の分配は行わない。
- (3) 議決権 A種株主は、普通株式を有する株主と同様に、株主総会において1株につき1個の議決権を有する。

当社は経営の透明性の向上及び監督機能の強化を図るため、監査等委員会を採用するとともに、多数の社外取締役を選任しております。

ガバナンス体制

【凡例】

■：会社法上の設置機関 ■：任意設置
●：社外取締役



データガバナンス委員会は、個人情報、企業秘密、サイバーセキュリティを総合的に守ることを使命に、5つの領域の知見を結集し、協議を重ねている委員会です。

データガバナンス委員会



データガバナンス委員会の使命

- ・データガバナンス委員会は、個人情報、企業秘密、サイバーセキュリティを総合的に守ることです。
- ・当社の定款に使命を記載しております。

定款第41条（データガバナンス委員会の設置）

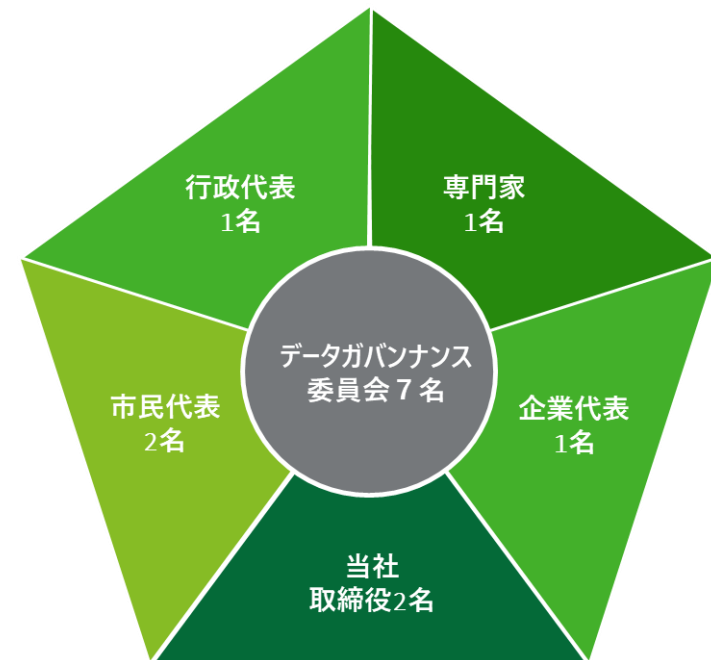
当社は、次の理念の下に、データガバナンス委員会を置く。

- (1) データガバナンス委員会は共助による豊かで人にやさしい社会の構築に向けて、データを落ち寄って下さる個人、行政、企業、団体の意思と利益を守ることを使命とする。
- (2) データ利用者と提供者の利害や意思が相反する場合は、データ提供者の利益を優先させる運用を会社に徹底させる。この原則下にデータの持ち寄りを促進して社会的、経済的な利得を拡大させることを志し、その果実を市民、事業者や地域プラットフォームを含むステークホルダーで適正に分け合うことを保障する。データガバナンスにもステークホルダーの参加をあおぐことで以上の実現をはかる。



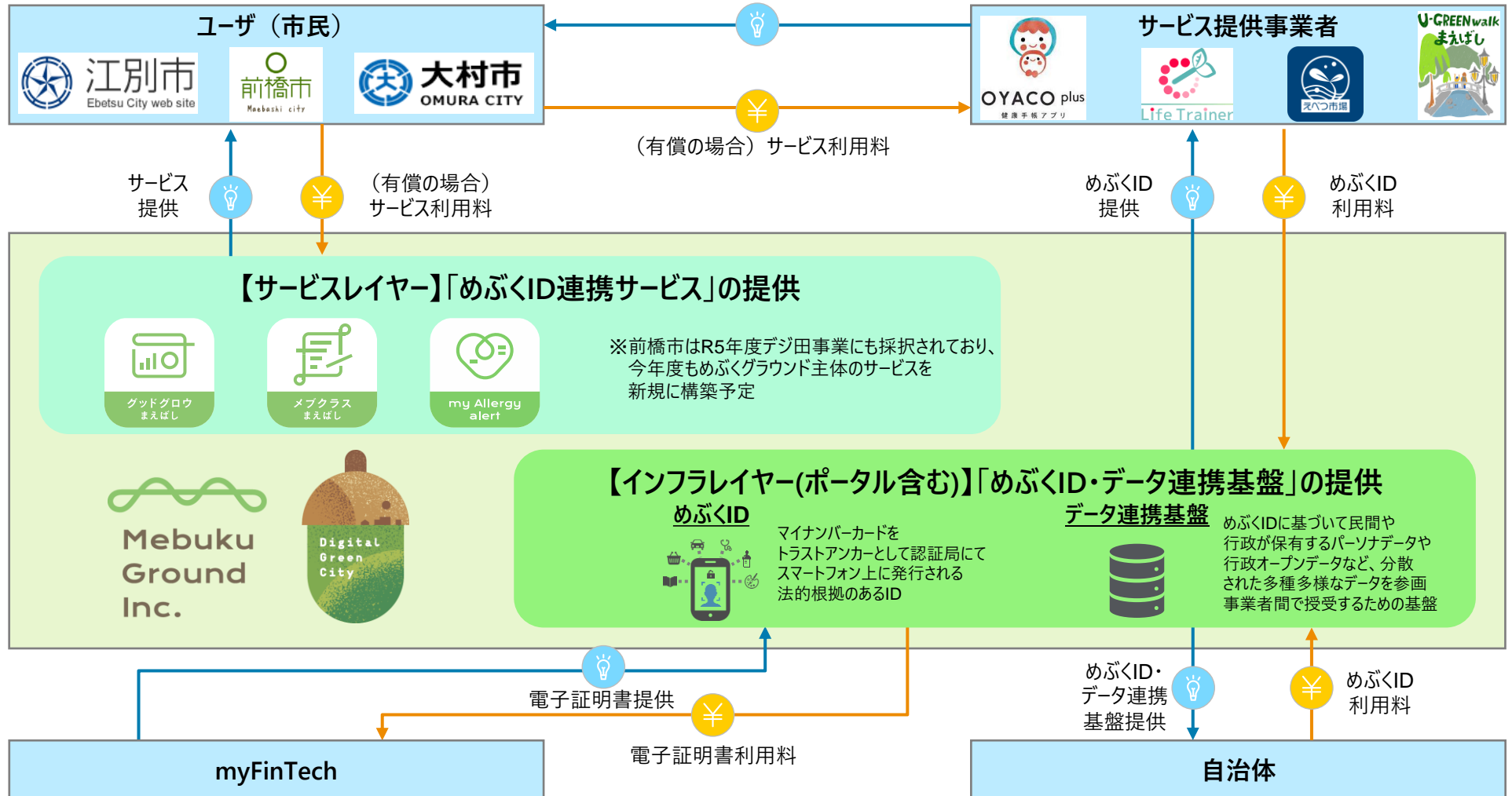
データガバナンス委員会メンバー構成

- ・市民代表・行政代表（前橋市）・専門家・企業代表・当社取締役2名、合計7名で構成しています。



めぶくIDの発行およびデータ連携基盤の提供を主なサービスとして、サービスレイヤー・インフラレイヤーそれぞれの官民様々なプレイヤーに提供しております。

めぶくグラウンドビジネスモデル



3.アプリケーションのご紹介

「めぶくID」と連携しているアプリケーション

アプリケーション（機能）

■ 群馬県 前橋市 ■ 北海道 江別市 ■ 長崎県 大村市



基盤

めぶくID



ダイナミックオプトイン



データ連携基盤

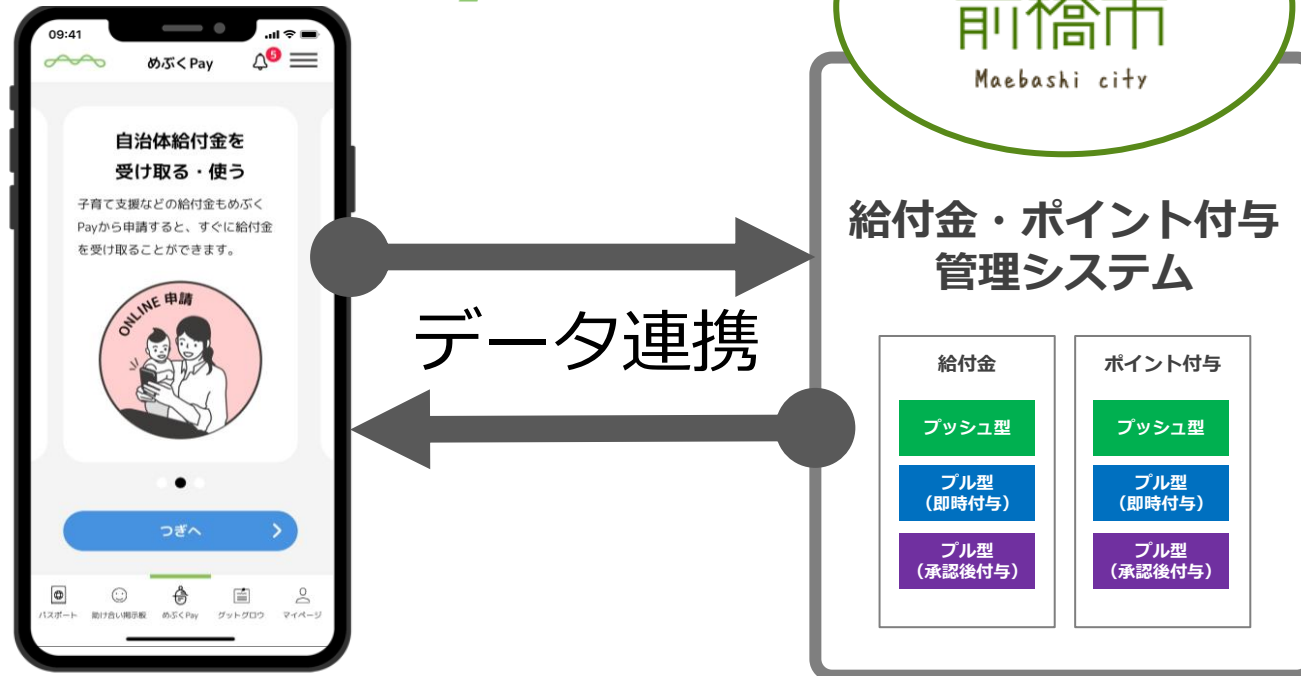


めぶくPayは、循環型地域経済社会の実現するために
2023年12月20日にサービスを開始しました。



めぶくPayは、電子地域通貨として、 最初に自治体給付を可能にした事例です

めぶく Pay





めぶくコミュニティ



Digital Green City

地域の交流を活性化させるソーシャルプラットフォームサービス（SPS） 「情報掲示型 対話促進 コミュニティ活性アプリケーション」



▶メニュー

ホーム/ログイン関連/FAQ/規定/
アプリリンク etc



▶めぶくコミュニティメッセージ

めぶくコミュニティのコンセプトと
概要



▶コミュニティ

ユーザー、ビジターが各コミュニティ
へ進む入口



▶イベント

今後予定されているイベントや
トピックスを表示



▶施設予約

めぶくIDで、Genki21等の施設を
利用予約



▶レポート

過去に実施したイベントなどの
情報を共有



▶ランキング

各コミュニティの掲示板をいいね数
でランキング表示



情報

共助のまちづくり

体験



匿名性の秘匿を実現※

心理的安全性の高い意見交換場



地域共助

めぶくID登録メンバーによる自由な
テーマ起案と掲載～投票／いいね！
を実現

記事記載時の記名・匿名は参加者
自身による自由選択

直感的なUIで掲載活動を活性化させ
テーマ起案者には共助ポイントを付与

※匿名性の秘匿

実際に投票に例えると

- ①投票所に行き投票券にて受付する
→誰が投票を行ったか確認できる
- ②投票用紙を受け取り記入し、
投票箱に投票する
→誰が誰に入れたか確認できない
＝匿名性は秘匿されている状態

レベル3

投票 (匿名：トレース不可)

レベル2

センシティブトピック (匿名：トレース可)

レベル1

提起告知・共助募集 他 (匿名or記名：トレース可)

© Junji Tanigawa & JTQ 2024

最高レベルのセキュリティ機能をもつ「めぶくID」による安心のデジタル意見交換場。
匿名性を担保しつつ、活発な意見交換を可能にする機能が
リアルなコミュニティ活動活性化や参加賛同者の募集などもサポート。
将来的な活用領域として完全匿名性を担保した選挙投票も視野に在れる。

4.めぶくID・データ連携基盤のご紹介

2つのテクノロジー

Key Pair

HSM 他

秘密鍵と公開鍵

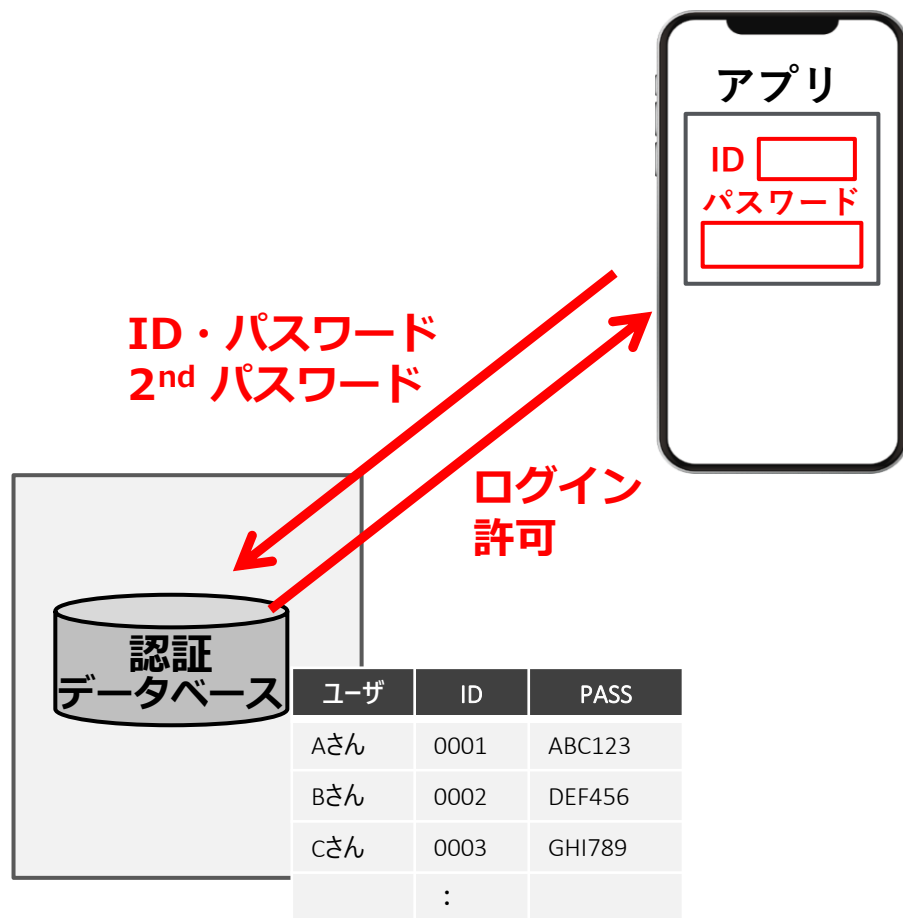
Hardware Security Module



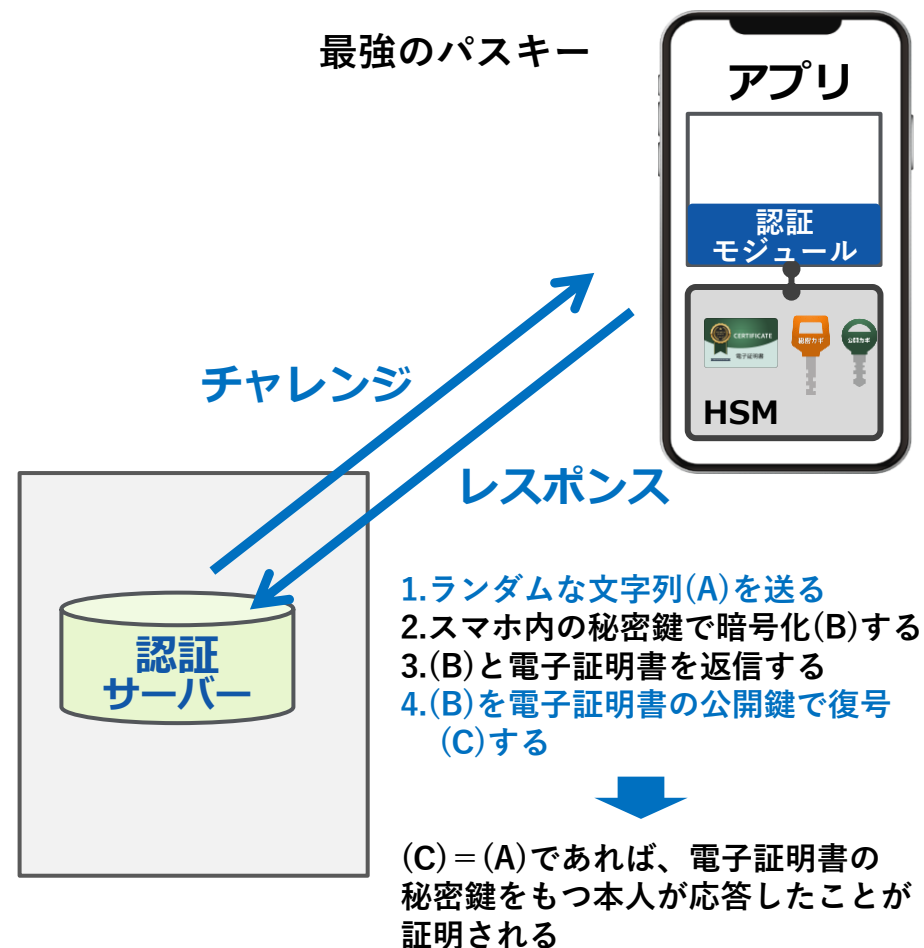
秘密鍵をハードウェアで守っている
(ハードウェア内で生成・保管され、決して外部に出ない)

認証は照合から証明へ

従来の方式



新たな方式



マイナンバーカードで厳格な本人確認を実施し 個人情報をセキュアに利用できるIDを作成

Step 1
マイナンバーカード
で身元確認



Step 2
電子署名法認定の
電子証明書を発行



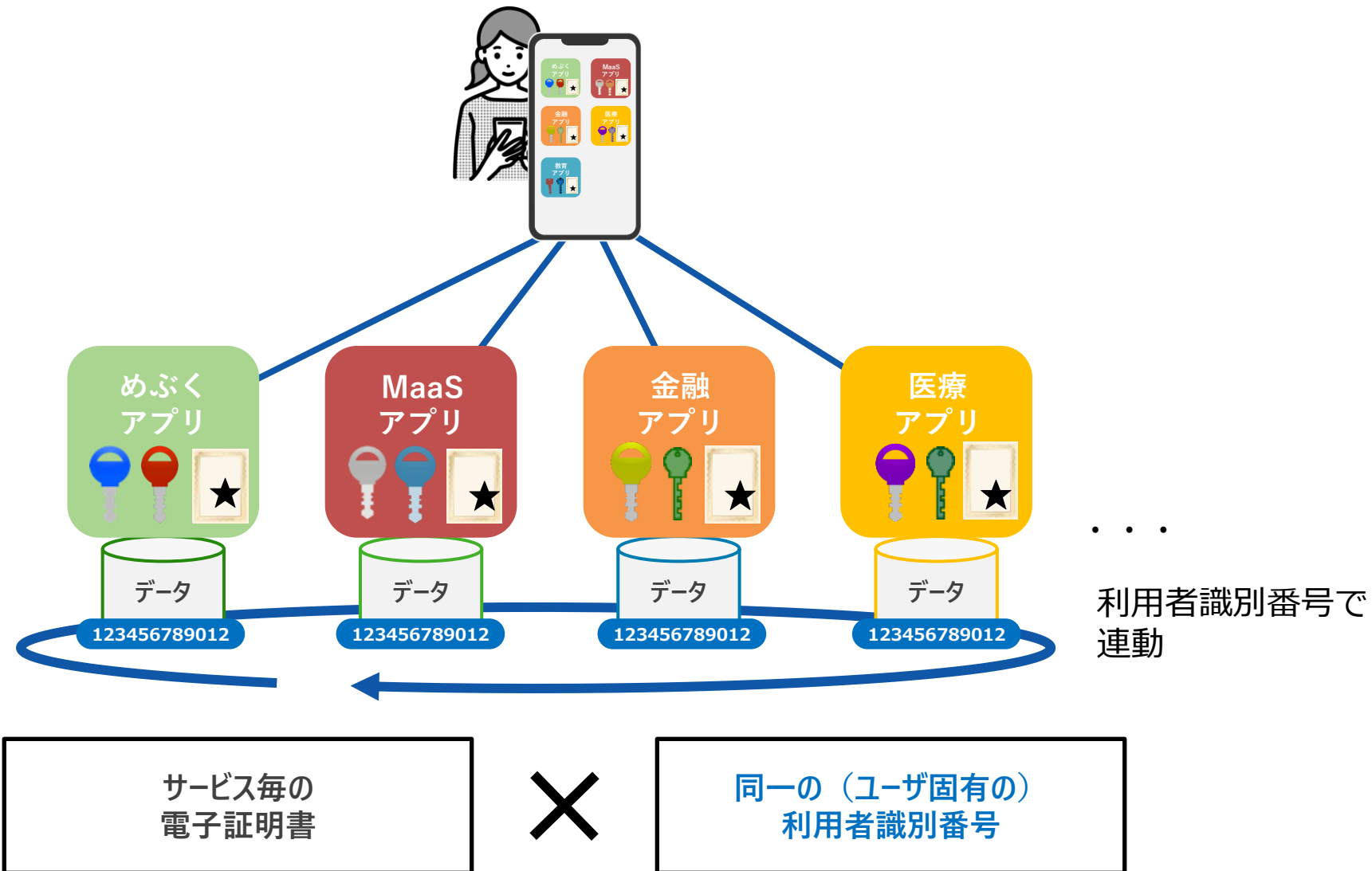
Step 3
認定電子証明書で
安全・便利に利用



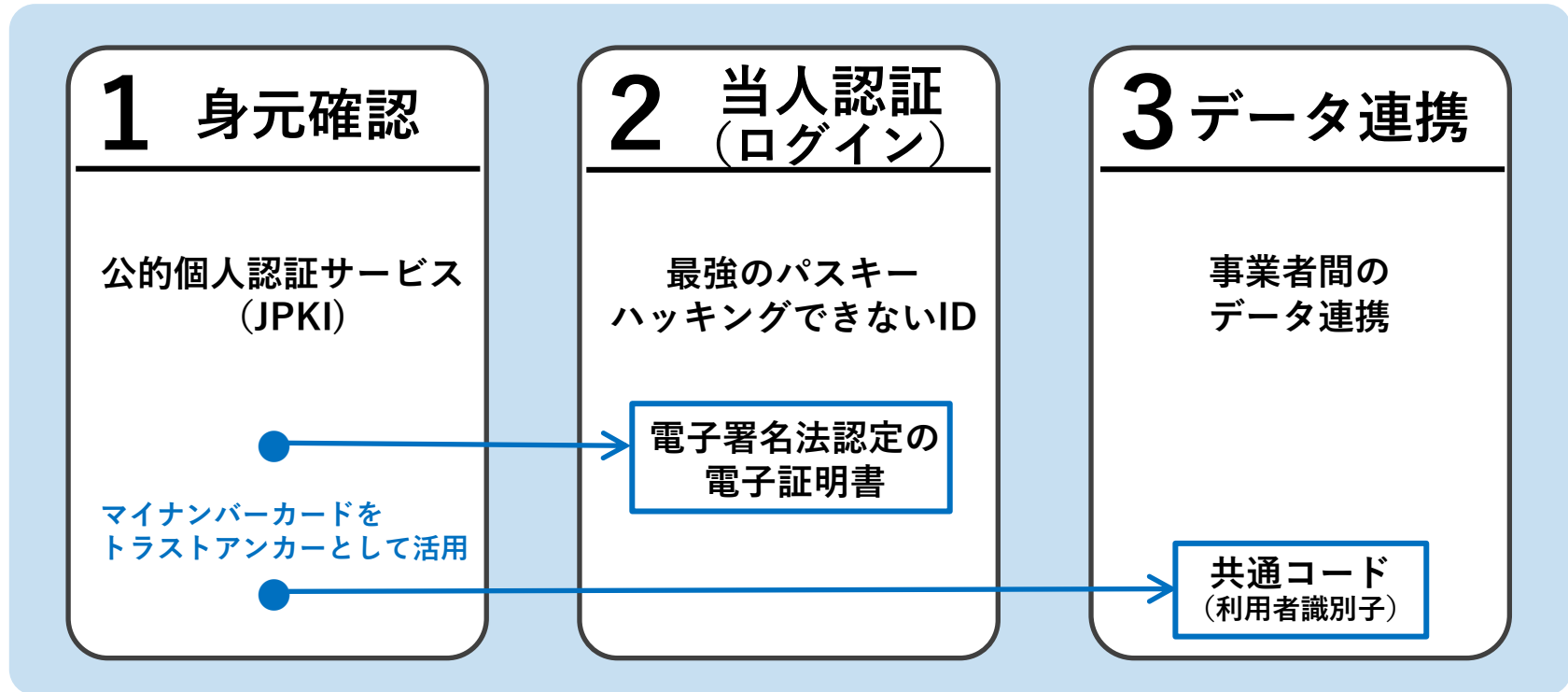
秘密鍵がスマホのHSM内
に生成される



他事業者とのパーソナルデータの確実な データ連携が可能になります



めぶくIDの3大機能



+ α : 「デジタル認証モジュール」として提供
➡ 貴社のアプリに組み込み



Mebuku Ground Inc.